



普通科の1年次生を対象とした、課題研究の中間報告会を実施しました。

普通科

普通科の1年次生は、基礎探究Aの授業において4～5人の研究班を編成し10月から課題研究に取り組んでいます。このたび、それぞれの研究班で設定した研究テーマなどを披露する中間報告会を、12月4日(水)の7限に開催しました。



中間報告会で発表する普通科の1年次生

それぞれのクラスで開催した中間報告会は、各研究班とも2分間で研究テーマや課題を設定した理由、設定した課題を解決するための方法を発表しました。質疑応答も行われ、クラスメイトのアドバイスにより、これから取り組む研究方法などについて深めることができました。中間報告会の後に普通科の1年次生が記述した振り返りシートには「どの研究班の発表も、興味深いテーマが紹介されており聞いていて楽しかった。自分たちも頑張ろうと思った。」や「質疑応答で予想もしていなかった質問があつて驚いた。これからは臨機応変に対応できるようになりたい。」「これまでみんなの前で発表する機会はありませんでしたが、発表を聞いてもらう人に、わかりやすく説明することが大切だとよくわかった。」などがありました。振り返った内容をしっかり生かしましょう。

探究科の3年次生が、全国高校生理科・科学論文大賞に出品しました。

探究科

神奈川大学が主催する第23回神奈川大学全国高校生理科・科学論文大賞に、探究科の3年次生が課題研究の成果をまとめた論文を出品しました。このコンテストは、研究を通して、日常生活における科学的な視点の育成や、学校での理科・科学実験などが様々な発見の喜びにつながることなど、理科・科学系部活動や総合的な探究の時間などで研究に夢中になっている若者を支援することを目的として創設されたものです。

第23回神奈川大学全国高校生理科・科学論文大賞に出品した研究班と研究テーマ等

研究班	研究テーマ
公民	紙の分解におけるごみの削減と資源循環
数学	コサイン類似度を用いた楽曲同士の関連性の分析手法について
物理1	ペットボトルフリップと水の動きに関する研究
物理2	コップと免震装置の研究
化学1	アイカゲル〜シリカゲルの吸着熱を利用したアイマスク〜
化学2	プラスチックも種類で分別する時代へ
生物1	ユーグレナのパラミロン含有量と温度との関係性
生物2	身近な細菌を用いた生ごみの効率的な分解に関する研究
保健体育	三重跳びをとぶには
家庭	二酸化炭素を吸収する布を作る

今年度は、全国各地の高等学校58校から128本の作品が出品されており、神奈川大学の先生方等による予備審査により大賞・優秀賞候補となる論文と努力賞候補となる論文が選ばれました。予備審査で選ばれた論文が本審査に進み、「高校生らしい研究論文の在り方」などの観点から審査され、入賞作品が決定されました。本校生徒が出品した10本の作品は、入賞した17本に入ることにはできませんでしたが、予備審査や本審査を通じて、複数の優秀な論文の応募があつた高等学校に送られる団体奨励賞を受賞することができました。



第23回神奈川大学全国高校生理科・科学論文大賞に出品した生徒

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。

探究科2年次の家庭班が、「高校生 食のSDGsアクショングランプリ」に出場しました。

探究科

兵庫県神戸市の流通科学大学が主催する第3回高校生 食のSDGsアクショングランプリに、探究科2年次の家庭班が発展探究の授業で取り組んでいる課題研究の成果を出品しました。本グランプリは、「豊かで持続可能な食を目指して」をメインテーマとして開催されたもので、人々の安心・安全な食生活を実現できる取り組みを企画・提案します。家庭班の研究テーマは「ベジタブルでサステナブル」で、ごぼうや大根などの野菜から抽出した液体に含



研究に取り組む家庭班の生徒



第3回高校生食のSDGsアクショングランプリで発表する家庭班の生徒

まれる界面活性剤や酵素を利用して、食器用洗剤を代替する方法を考えました。全国各地の高等学校32校から応募があり、中間審査の結果10校が最終審査に進むこととなりました。最終審査は神戸市の流通科学大学のキャンパスで行われ、4人の生徒が口頭発表に挑戦しました。最終審査の結果、入賞には届きませんでしたが、学校外で行われる発表会に初めて参加した家庭班の生徒は、研究成果をしっかりと伝えることができました。

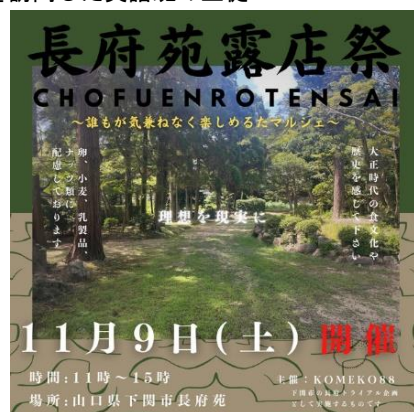
探究科2年次の英語班が、長府苑露店祭でインタビュー等を実施しました。

探究科

発展探究の授業において課題研究に取り組む探究科2年次の英語班が、長府苑で開催された、長府苑露店祭でインタビューを実施しました。英語班は、海外から来日した人々が、祭りの縁日で販売されている食品の成分表示が十分ではないため、露店で販売されている食品を購入し、飲食を楽しむことができないのではないかと考えて研究を進めてきました。そこで、食物アレルギーなどに配慮が必要な人々も楽しめる祭りとして開催される長府苑露店祭に注目し、来場者にインタビューすることにしました。長府苑露店祭は、唐戸でグルテンフリーのパンを販売されているKOMEKO88の原田修平さんが取り組まれている活動です。露天祭でのアンケート調査活動に先立って、11月7日(木)にKOMEKO88を訪問し、アレルギーなどに配慮した食品を手掛けられたきっかけや、長府苑露店祭の開催趣旨について伺いました。また、同席された農林水産省中国四国農政局山口県拠点の統括農政推進官の高木泰治さんからは、農林水産省の取組や山口県の農産物及び食品についてお話をいただきました。



KOMEKO88を訪問した英語班の生徒



長府苑露店祭を紹介するチラシ



TYSの取材を受ける英語班の生徒

外からおおよそ20店舗の出店があり、それぞれの店舗には、販売する商品に卵や小麦、乳製品などが使用されているかどうか表示されていました。英語班のメンバーは、露天祭に来場されたみなさんに、「祭りで食品を購入するとき困ったことはないか」や「どうすれば、そのことを解決することができるか」など、口頭でインタビューしました。なお、このたびの活動の様子は、テレビ山口(TYS)により取材され、後日放映していただくことができました。

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。